

第1部 開演 14:00～14:40
開場 13:30～

小さな音楽会 & オイリュトミー

♪おとのかほ

いろんな響き、歌って、聴いて
見て、
楽しもう！

♪うたいましょう

- ・宮澤賢治のうた「十カ金の剛石」より
- ・音楽紙芝居「雨姫さま／シュトルム原作」
(国際紙芝居協会奨励賞受賞)
- ・雨の水族館
- ・大きな古時計

♪いろんな響き聴いてみよう「パッヘルベルのカノン」

- ・リコーダー演奏：「くりの木」の子どもたち
- ・ライヤー演奏：郡山ライヤーの会

♪見えるうた「オイリュトミー」

- ・パッヘルベルのカノンを動いてみよう！
(中学生以上。お申し込みの際、体験希望とお伝え下さい。)

♪Evoe「天使の挨拶」

第1部最後に「Evoe」をご覧ください。
光、空気、水、大地・・・大自然への畏敬と感謝を、美しい
音の調べにのせ、オイリュトミーの群舞で表現します。

2014年11月30日(日)

奏身舎 5周年記念公演



前売チケット

(座席に限りがありますのでお早めにご予約下さい)

- 1部のみ 3歳～ 500円(当日800円)
- 2部のみ 大人1700円(当日2000円)
子ども1000円(当日1300円)
(小・中・高校生)
- ※第2部では未就学児のご参加はご遠慮下さい。
- 通し
大人2000円(当日2500円)
子ども1300円(当日1800円)

●お申し込み/お問い合わせ

T/F. 0287-63-4039 携帯 080-5695-4577 渋谷
メール: nasu.sousinsya@snow.plala.or.jp

後援・協力：ぶどうの会・くりの木・とちのみ・イシスの会
・ひばりの会・郡山ライヤーの会・NPO法人「創造の森」
主催：那須・奏身舎
(宇都宮共和大那須キャンパス隣り)
那須塩原市鹿野崎175-17 T/F. 0287-63-4039



第2部 開演 15:00～16:00 小学生から
開場 14:45～

オイリュトミー公演

薔薇の波紋



僕は聞いた、
水の中には 石と波紋があると、
そして水の上には言葉があって、
この言葉が水のまわりに
波紋を描かせていると。

●言葉の作品

パウル・ツェラン
「誰でもないものの薔薇」「僕は聞いた」

●音楽の作品

ブラームス「間奏曲イ長調」
アルヴォー・ペルトー「鏡の中の鏡」
「アリヌーシカの癒しのための変奏曲」「アリーナのために」
バッハ「アリオソ」ヴィターリ「シャコンヌ」
ヘンデル「オンブラマイフ」

●出演

オイリュトミー：渋谷智栄子 安齋裕司
ぶどうの会 イシスの会
ピアノ：山口智子 菅沼加代子
チェロ：石井曳 菅沼萌 ヴァイオリン：菅沼美月

照明：横尾勝也

5周年記念公演によせて

奏身舎もこの秋で5周年目を迎えます。
これまで支えて下さった皆さまに
心より深く御礼申し上げます。

第1部・小さな音楽会&オイリュトミー 「おとのわ」

「きく」「うたう」

昔懐かしい紙芝居や、うた、ギターの弾き語り。やさしい音色の「おとのわ」で、みんなひとつにながれ！

シュタイナー教育で用いられるリコーダー、ライヤー、グロックンは、小さな子どもたちにもふさわしい心にしみ込むような美しいあたたかな響きです。

「うごく、かんじる」

言葉や音のなかの美しい響きには、心や体に調和をもたらし、生き生きさせる力があります。ライヤーの演奏で「パッヘルベルのカノン」を体験してみませんか。(中学生以上。お申し込みの際、体験希望とお伝え下さい。)

「みえるうた」

第1部のフィナーレは群舞によるオイリュトミー「EVOE」(エヴォエ)。
どんなに科学が発達しても、人間も大きな世界の一部です。母なる大地、水、空気、光・命ある全てのものに畏敬と感謝を捧げます。

☆20分の休憩後、第2部が始まります。

第2部・・・悲しみから癒しへ オイリュトミー公演「薔薇の波紋」

幾重にも重なる薔薇の花びらには、遠い昔の想い出が秘められているようです。

クララ・シューマンへの贈りものとして作曲されたブラームスの「間奏曲」は、愛おしさと懐かしさが溢れる作品です。

バッハのアリオーツは、深まる秋にふさわしいおだやかであたたかなチェロの作品です。

ドイツ系ユダヤ人、パウル・ツェランは1941年ナチスにより強制収容所で両親を亡くし、一人生き延びたツェランは、愛する者を殺された痛みを言葉に刻みます。その言葉は水の中に広がる波紋のように静かに救済の力へと変容し、3.11以降の我々に静かに語りかけます。

現代音楽の作曲家、アルヴォー・ペルトーは、痛みと悲しみから癒される魂の過程を「アリス・シュカの癒しのための変奏曲」で表しました。

ヴィターリの「シャコンヌ」は、三拍子の哀しみを帯びたメロディーで始まり、そのテーマに沿って、二十もの変奏曲が繰り広げられます。
繰り返され変容していくテーマは、人間の「運命」そのものを思わせます。

ヘンデルのアリア「オンブラ・マイ・フ」は、「愛おしい木陰」という意味。樹陰がそうであるように、この曲も、聴くものにやすらぎと平安をもたらしてくれます。
美しい響きのなかの癒す力が、どうか皆さまの心にもとどきますように！

オイリュトミー[Eurythmie]とは

「美しい調和あるリズム」という意味。生き生きした音の響きをカラダに満たして動く身体芸術です。100年前、ルドルフ・シュタイナーによってもたらされ、現在、世界各国の芸術、教育、治療の各分野で広がっています。
「頭・心・体」のバランスを整えることから、シュタイナー教育の柱として、幼児・学校教育、また週末の芸術クラスにおいて実践されています。



Shibutani chieko
渋谷智栄子

オイリュトミスト。東京学芸大学卒。
東京都で美術教師、造形活動を経て天使館第1期卒業。
舞台公演に加えて、東京、宇都宮、那須塩原、須賀川、郡山にて幼児から大人までクラスを持つ。
また、ハンディを持つ子どもたちの指導にも携わる。
地域に根ざす教育芸術活動にも力を注ぐ。

Ansai hiroshi
安齋裕司

体育大学卒業後、バイオダイナミック農業やシュタイナー教育に出会う。95年オイリュトミー・シュール天使館1期卒業。
数々の公演に参加し、朗唱をつとめる。
06年から那須塩原市在住。09年オイリュトミー・ホール那須・奏身舎を渋谷と設立。また、仲間と共にバイオダイナミック農業に学び「こぼると農園」を耕す。